

我が子の受験体験記

私の娘はもう高2になりましたが、年長の頃に私は母親として学校に行き、その時の緊張感や不安な気持ちは今でも覚えています。

なんとサクセス Genius 受験科の第1号が、私の娘なんです。先生として、母親として、実の娘を教育するという事で私は本当に色々なことを学ばせてもらいました。娘は、その時のことを今でも覚えていて鬼のような先生・母だったと今でも言います。(反省してます。) 私も一生懸命だったんです。

受験をするということへ母親の不安や重圧が、子どもにもものしかかっていたんですね。渦中の私はそんなことはわかっていなかったでしょう。今になって客観的になり、娘との笑い話になっていたり、やっとわかるようになってきたくらいです。

娘は、言います。「あの頃のお母さんはとても怖かったけど、小学校に行ってからわかったこともたくさんあるし、家族で色々話したり勉強したりして、やっておいてよかったと思うよ。学校もとっても楽しかったし」って。
それに救われる私です。

今、受験科のお母さんを見ていると、私はそんなお母さん方の気持ちがよ〜くわかります。だんだんとこれくらいの時期から不安な気持ちが大きくなってくるんです。やってもやってもどこまで何をやったらいいか見えないんです。その不安が子供に伝搬し、子どもも情緒不安定になってしまいます。

そんな気持ちがわかり、受験科としての実績もついてきたので、何をどうしたらよいかという細かいアドバイスができるようになりました。だから、私はお母さん方を実質的な部分と心の面でもサポートしたいと思っています。何より子どもたちを伸び伸びした子供らしい環境にし、受験を通して一步前へ進んでいってもらうために一番必要なサポートだと思っています。

お母さんが笑っていれば、家族はみんな幸せ！

そして、それが結果にも結び付いていきます。

受験をするということは、家族一人一人が「強くなる」チャンスです。

そして、受験だけでは終わらせてもらいたくありません。その結果を受けて、小学校でどう成長していくか、それがもっと大事なことです。

子育ては、誰もが初めての経験で不安だらけですが、母親のしっかりと子供に向ける愛情があれば何も怖くありません。

娘を見ていて、そう思います。

だから、私はお母さんの応援団なんです！

良き相談相手としていつでも話に来てください。お待ちしております。

個別志導のサクセス 塾長 近藤友紀

